令和8年度第1回　仙台市ツキノワグマ対策本部会議

日時　令和 8 年 5 月 25 日（月）
9 時開始
場所　秘書課第一応接室

次　第

１　開会

２　報告

（1）ツキノワグマの出没状況について
（2）主な施策の進捗状況等について

３　議事

ツキノワグマ対策強化方針について

４　その他

５　閉会

【配布資料】

資料 1　　近年のツキノワグマ出没状況
資料 2-1　ツキノワグマ被害防止対策パッケージ
資料 2-2　庁内における独自のツキノワグマ対策に係る取り組み例
資料 3　　ツキノワグマ対策強化方針（案）について

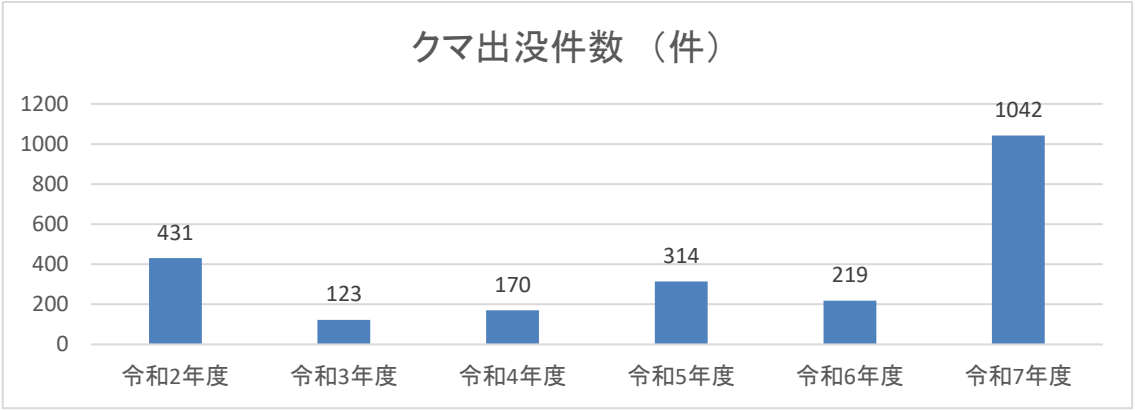
資料 1

近年のツキノワグマ出没状況(月別:件数)

区　　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
令和2年度	10	31	21	51	46	60	101	93	8	1	3	6	**431**
令和3年度	2	18	24	25	19	10	11	11	1	0	1	1	**123**
令和4年度	11	18	23	29	37	25	14	2	4	1	4	2	**170**
令和5年度	5	26	40	26	22	11	55	90	18	10	4	7	**314**
令和6年度	10	27	41	36	33	32	13	5	3	3	5	11	**219**
令和7年度	**3**	**38**	**39**	**76**	**56**	**70**	**371**	**263**	**78**	**24**	**14**	**10**	**1042**
令和8年度	**36**	**51**※	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	**87**

※令和8年5月21日現在の件数

令和2～6年度 平均件数	7.6	24.0	29.8	33.4	31.4	27.6	38.8	40.2	6.8	3.0	3.4	5.4	251.4
令和7年度の 対平均比率	39.5%	158.3%	130.9%	227.5%	178.3%	253.6%	956.2%	654.2%	1147.1%	800.0%	411.8%	185.2%	414.5%



資料 2-1

仙台市ツキノワグマ被害防止対策パッケージ（抜粋）

令和８年５月２５日

✓市民の安全安心な暮らしを守るため、全庁連携により出没抑制対策や捕獲体制強化など施策パッケージを推進

対策パッケージに係る令和８年度予算　総額：257,840千円

１　誘引木の伐採・見通しの確保　215,602千円

✓公園・河川など公管理地の誘引木伐採・藪の刈払い等および管理困難な民有地ハイリスク誘引木の行政伐採　215,602千円
【健康福祉局・環境局・建設局・青葉区・宮城総合支所・太白区・秋保総合支所・泉区・教育局】

２　侵入防止対策　21,819千円

✓電気柵設置等　7,785千円【環境局・青葉区】
✓地域一帯での対策強化に向けた調査を含むモデル事業　12,634千円【環境局・各区・支所】
✓ＡＩカメラ活用実証、追い払いを視野に入れたＩＣＴ活用の有効性検証　1,400千円【まちづくり政策局・環境局】

３　パトロールや注意喚起　13,374千円

✓パトロール（学校周辺車両巡回）12,584千円【教育局】
✓町内会回覧チラシ、看板設置等　790千円【環境局・青葉区】

４　対策物資拡充等　6,045千円

✓防護グッズ（クマ撃退スプレー、クマ忌避剤等）　4,883千円【環境局・青葉区・宮城総合支所・太白区・秋保総合支所・泉区】
✓対策備品・資機材等（サーマルスコープ、燃料等）1,162千円【青葉区・宮城総合支所・秋保総合支所・泉区】

５　緊急時の体制強化　1,000千円

✓緊急銃猟等を担う方の報酬改善（人件費対応）
（わなに捕獲されていないクマに係る緊急銃猟従事者日当：9千円→2万円、左記のうち射手の日当：3万円～4万円）【環境局】
✓職員や捕獲者の研修受講促進　1,000千円【環境局】　　✓県と連携した個体数管理の推進【環境局】

（参考）継続的な取り組みに係る令和８年度予算　総額：6,934千円

平常時の啓発から緊急時の捕獲まで総合的な対策の推進（環境局・経済局・各区ほか。宮城県警など関係機関との連携を含む）
・市ホームページ、市政だより、啓発チラシ、パネル展示、クマ対策講座等による身を守る対策などの周知、クマ出没情報マップによる出没傾向発信
・出没時の現場確認や広報車での呼びかけ、周辺の町内会や学校への注意喚起、メール配信サービスや市公式LINEでの通知
・必要に応じて専門事業者の侵入経路調査や具体的な誘引物除去の助言、被害防止のための箱わなや銃を用いた速やかな捕獲　　など

資料 2-2

庁内における独自のツキノワグマ対策に係る取り組み例

令和８年５月２５日

【市立学校での対応事例】

1　教育局学校安全クマ対策本部の設置

・局内関係課の対策の進捗状況や情報を一元化し、学校教育の安全確保に向けて組織的に対応する。

2　学校における安全対策

・クマ出没情報の収集及び教職員間、保護者、地域、警察、児童館等との連絡体制の確認。

・クマ出没時の緊急対応（児童生徒の避難、保護者への送迎依頼、集団登下校など）の手順の確認及び実施。

・対策物品（クマ撃退スプレー、クマ鈴、忌避剤、ホイッスル）の配付。

・校地内の誘因木の調査・伐採の実施。

・緊急時に保護者が対応できない場合、学校配備のタクシーチケットにより児童生徒を送迎するマニュアルを整備。

3　教育課程に関すること

・出没状況に応じた登下校時間の繰り上げ・繰り下げ。

・校外学習（野外活動等）の実施は児童生徒の安全を第一とし、中止や屋内の活動への変更を行う。

・クマ出没不安から欠席や校外学習へ不参加の申し出があった際、校長の判断により出席停止とできる（欠席としない）取扱いを整理（5/21）。

4　その他

・クマの目撃情報のあった学校周辺におけるパトロール車両の巡回を警備会社に委託（5/20～）。

資料 2-2

庁内における独自のツキノワグマ対策に係る取り組み例

令和8年5月25日

【オーエンス泉岳自然ふれあい館の対策】（指定管理者：株式会社オーエンス）

マニュアルを策定し、市民キャンプ場含む敷地内の管理を徹底

①緩衝地帯の整備

定期的に下草を刈払い、クマと人が至近距離で遭遇しないよう見通しを確保。

②侵入防止・警告、記録・確認

敷地境界付近に、動物が嫌がる音波や音、光を発する装置（7台）、動体センサー付き定点カメラ（11台）を設置。

③巡回・追い払い

定期的に敷地周辺を巡回し、クマ除けフォーン等で追い払いを行う。

④情報提供

登山者からの目撃情報を集約し、HPや掲示板等での周知を行う。

⑤物品の貸与

学校や団体にはクマ除けフォーン、クマすず、クマ撃退スプレーの貸与を行う。

資料 2-2

庁内における独自のツキノワグマ対策に係る取り組み例

令和8年5月25日

【2026仙台・青葉まつりの対策】（主催：仙台・青葉まつり協賛会）

マニュアルを策定し、会場環境の整備を徹底

①緩衝地帯の整備

・会場周辺のヤブ・死角・暗がりの点検。

・河川敷地や公園敷地の刈払いの実施（宮城県や青葉区と連携）。

②侵入防止・警告

・ゴミや食べ残し清掃を準備段階から徹底するとともに、ゴミのポイ捨て禁止の周知を行う。
会場で発生したゴミは分別し、袋の口をきつく結んだうえで密閉室「スーパーハウス（プレハブ）」に保管し、においが漏れないよう管理。

・夜間はバルーンナイター（発電機付き大型ライト）を4台設置し、発電機の音と光による対策。

・会場のスピーカーからの高周波音によるクマの侵入防止対策。クマの忌避剤の設置。

③巡回・追い払い

・電子ホイッスルの活用。5/15（金）～5/17（日）AM6：00~7：00に会場付近で実施。

資料 3

ツキノワグマ対策強化方針（案）について

令和８年５月２５日

✓市街地等への出没が大幅に増加している状況等を踏まえ、全庁連携して取り組むクマ対策強化方針

１ クマ対策の市民等への周知徹底

〇クマ出没メール・市公式LINE等による迅速な情報発信
〇市ホームページ・市政だより・チラシ・新聞広告・看板設置等による注意喚起、クマ対策講座の開催
〇公共施設やイベント開催時における注意喚起
〇出没情報マップによる出没傾向の可視化

⇒ 市民一人ひとりの危険回避行動の徹底

２ クマを寄せ付けない出没抑制対策

〇公園・河川等における誘引木伐採、藪刈払いによる見通し確保
〇管理困難な民有地ハイリスク誘引木の行政伐採
〇電気柵、忌避剤の設置など侵入経路対策の強化
〇公共施設及びイベント開催時における安全確保や、人的な誘因（生ごみ等）の低減に向けた対策の徹底

⇒ クマが市街地に近づかない環境づくりを徹底

３ 監視体制と出没時の対応強化

〇県警と連携した出没時の迅速な現地確認と周辺住民への注意喚起
〇学校・幼保関係者による児童等の安全確保に向けた対応
〇学校周辺等の重点パトロールの実施
〇ＡＩカメラの活用による監視体制の強化
〇通常捕獲の早期権限移譲による迅速かつ的確な捕獲対応

⇒ 出没時の初動対応の迅速化と人身被害の未然防止

４ クマに係る捕獲体制の強化

〇捕獲従事者の育成等による捕獲体制の強化
〇県警や猟友会等との連携強化による迅速かつ確実な捕獲
〇ドローンの活用による効果的な対策
〇県と連携した個体数管理の強化
〇駆除数増加に対応した民間の減容化施設の活用

⇒ 緊急時を含む捕獲体制等の強化